



〔春の火災予防運動のお知らせ〕

東京消防庁による『春の火災予防運動』が3月1日（日）～3月7日（土）に実施されます。春先は空気が乾燥し風が強い日が多く、一度火災が起きると大きく燃え広がりやすくなります。電気器具の取り扱いに注意し、家の周りの整理整頓、空き地等不審火の原因となりそうな所は特に気を付け、火災の発生を防ぐよう心がけましょう。

〔二子玉川クリーンタウン作戦についてのお知らせ〕

二子玉川地区交通環境浄化推進協議会 会長 松本順一

3月のクリーンタウン作戦は次の通り行います。ご参加ご協力をお願いいたします。

日 時 3月6日（金） 午前9時30分～10時30分

集合場所 二子玉川駅西口前（246号線側）

*雨天でも、駅前にてポイ捨て禁止のティッシュ配り等のPR活動を行っています。

*集合時には通行のご迷惑にならないようご注意ください。

〔防犯パトロール実施のお知らせ〕

3月の防犯パトロールを下記の通り実施します。尚、状況により中止させていただく事もありますが、ご理解・ご協力をお願い致します。

日 時 3月5日（木）・15日（日）・25日（水） 午後8時～

集合場所 1・2丁目 玉川町会会館 3・4丁目 二子玉川商店会館前

〔春の全国交通安全運動のご協力のお願い〕

4月6日（月）～15日（水）までの10日間、『春の全国交通安全運動』が実施されます。玉川町会では二子玉川駅西口に推進本部を設け、交通安全の呼びかけをします。

担当	当番日	午前の部 10時～12時	午後の部 1時～3時
3丁目	4月 6日（月）		11日（土）
4丁目	4月 7日（火）		12日（日）
交通浄化	4月 8日（水）		13日（月）
1丁目	4月 9日（木）		14日（火）
2丁目	4月10日（金）		15日（水）

〔役員会議のお知らせ〕

定例丁目会長会 3月 13日（金） 玉川町会会館 19:00～

議題 1. 総会について 2. その他



桜が見られるか、見られないかは当日の開花状況次第…!!

春の歩こう会

桜、咲いているかな?楽しいまち歩き

©世田谷区
桜満開の都立砧公園

参加費無料

二子玉川地区
在住の方優先

(空きがあれば他地区の方も
ご参加できます。)

要事前申込
抽選25名

開催日時

令和8年3月28日(土)

8:30集合~12:00解散(予定)

※原則雨天中止、ただし小雨の場合は開催する可能性があります。

コース(約5km)

集合:用賀くすのき公園(用賀駅北口から徒歩1分)

⇒ 砧公園 ⇒ 大蔵運動公園

⇒ 東宝スタジオ周辺 ⇒ 仙川沿いの桜並木 ⇒

解散:成城学園前駅付近

砧公園を含む、桜堪能コースです!!

持ち物

飲み物、交通費、歩きやすい服装

※参加費は無料ですが、交通費は自己負担となります。

申込方法

受付期間:2月20日(金)~3月10日(火)

いずれかの方法でお申し込みください。

・区ホームページから申込フォームへアクセス

・下記のお問い合わせ先へ、お電話もしくは

FAXでお申し込みください。(抽選25名)

①事業名称(春の歩こう会(二子玉川地区))

②お名前 ③電話番号 ④住所 をお伝えください。

事業内容等詳細は

区ホームページをご確認ください →



22883

※区ホームページからページIDでも検索できます。



【お申し込み・お問い合わせ】

せたがやコール(8:00~21:00、年中無休)

電話:03(5432)3333 FAX:03(5432)3100

主催:二子玉川地区身近なまちづくり推進協議会 事務局:二子玉川まちづくりセンター

令和8年度 胃がん(エックス線)・大腸がん検診のお知らせ

二子玉川地区町会連合会

二子玉川地区身近なまちづくり推進協議会

《受診できる方は、40歳以上(令和9年3月末現在)で二子玉川地区在住の区民の方です。》

自己負担費用 胃がん検診 1,000円 (検診日当日、受付でお支払いください。)
大腸がん検診 200円 (「検体」提出時にお支払いください。)

*生活保護受給者等の方の自己負担はありません。

検診会場及び日時

玉川せせらぎホール(「玉川区民会館」) (等々力3-4-1)《大井町線「等々力」駅下車すぐ》	胃がん 検診 一日 15名 まで	5月 14日(木)
玉川ボランティアビューロー (玉川2-1-15)		19日(火)
無量寺 (用賀4-20-1)		21日(木)・27日(水)

○受付は、午前9時15分から【受付時間帯のご希望はお受けできません。保健センターからご案内します】

○大腸検診のみの受診で上記の会場へ提出の方は、午前10時30分までにご提出ください。

検診の内容

胃がん検診…バリウムを飲んでからエックス線で撮影を行います。

検診車内で実施

《注》下記に該当の方は今回の「胃がん検診」は受けることができません。

- 脳卒中(脳梗塞・脳内出血)等で手足のマヒやシビレがあり、物につかまることができない方
- バリウム検査でアレルギー症状が出たり誤嚥したことがある方
- 腸閉塞、腸ねん転になったことがある方
- 心臓ペースメーカーを装着している方
- 心臓病、腎臓病で水分を制限されている方
- 胃や十二指腸を切除したり治療中の方
- 人工肛門の方
- 妊娠中の方

《令和7年度に世田谷区の「胃がん(内視鏡)検診」を受診された方》

大腸がん検診…便の中に出血がないかを調べます。

○お申込みの方には《採便容器》をお送りしますので、容器に便を採取して上記会場、または、指定の場所(「検体提出用封筒」に記載)へご持参ください。

お申込み方法

上記の検診会場・検診日から、ご都合の良い日程を選んで、

「せたがやコール」へ電話又はFAXでお申込みください。

オンライン申請は右記の『二次元コード』からお申込みください。



申込受付期間 **2月25日(水) ~ 4月14日(火)**

電話 03-5432-3333 [午前8時~午後9時]

FAX 03-5432-3100 [24時間受付]

電話でお申込みの際は、①名前 ②性別 ③生年月日 ④住所 ⑤電話番号

⑥希望の検診名 ⑦胃がんは希望日 ⑧検診会場 以上の8項目をお伝えください。

FAXでお申込みの場合も送信文に上記①(フリガナ)~⑧を明記してください。

※お申込みは、ハガキ等郵送でも受け付けています。上記①(フリガナ)~⑧を明記してください。

◎お問合せ・郵送先 (公財) 世田谷区保健センター 管理課
〒156-0043 世田谷区松原6-37-10 ☎03-6265-7413

◎お申込みされた方への「検診のご案内」は、4月30日頃に発送する予定です。お手元に届かない場合はご連絡ください。

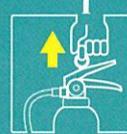
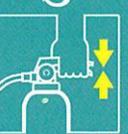
目で確認 声出し確認 火の用心

令和7年度東京消防庁火災予防標語
作者 岩崎 公瑠美さん(清瀬市在学)

やってる?
火災予防



覚えて安心!
消火器の使い方

- 
安全ピンを抜く
- 
ホースを火元に向ける
- 
レバーを握る

ハッセンボン
ハリセンボン 近藤春菜

東京消防庁 一般社団法人 東京防災設備保守協会

近藤春菜さん出演のスペシャル動画はこちら!
東京消防 検索
<https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp>
東京消防庁公式アプリ配信中心!!



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
11130-080115

いざという時に備え、防災訓練に参加しましょう!

最後に防災訓練に参加したのはどのくらい前か、覚えていますか?東京消防庁管内では、様々な場所で防災訓練が実施されており、自由に参加できる防災訓練もたくさん実施されています。いざというときに命を守る行動ができるように、定期的に防災訓練に参加し防災に対する知識を深めましょう。

● 初期消火訓練

訓練用模擬消火器やまちかど防災訓練車を使い、実際の火災を想定した初期消火を体験できます。



● 避難訓練

煙体験ハウスなどで、煙で視界が悪くなることや正しい避難姿勢を体で覚えます。
※煙は体に害のないものを使用しています。



● 通報訓練

訓練用通報装置を使い、119番通報の流れや正しい伝え方を実践的に学びます。

● 体験用車両を使った訓練

VR防災体験車や起震車などで、災害時の行動を安全にシミュレーションすることができます。



防災訓練を検索

「いつ・どこで防災訓練に参加できるのか?」を東京消防庁公式アプリのマップ機能で確認できます。ダウンロードは右の二次元コードから!



持っていますか?マイ消火器 ~ご自宅に消火器を備えましょう!~

万が一火災が起こった場合には早く気づき、早く消すことが大切です。いざという時に使えるようご自宅に**マイ消火器**を備え、使い方を確認しましょう!消火器はホームセンターや防火設備取扱店、インターネットショッピングで購入できます。

● 消火器の効果

※「令和7年版火災の実態(速報版)より」



万が一、火災が発生しても消火器具を使用した場合は、**約7割**が被害軽減につながっています。

● 使い方



マイ消火器を備えるメリット

- さまざまな火災に対応
- 早い初期消火が可能

耐用年数

- 1 消火器: 約10年
- 2 住宅用消火器: 約5年
- 3 エアゾール式簡易消火具: 約3年

古くなった消火器は破裂するおそれがあります。定期的に交換しましょう。

消火器のリサイクル

- 消火器を廃棄する場合は、お住まいの自治体または消火器リサイクル推進センターにお問い合わせください。
- エアゾール式簡易消火具を廃棄する場合は、スプレー缶と同様、お住まいの自治体の廃棄方法に従ってください。

消火器リサイクル推進センター

TEL.03-5829-6773

詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



東京消防庁ホームページや東京消防庁公式アプリへはこちらからアクセスできます。

問合せ先

玉川消防署
予防課 防火管理係
03-3705-0119

オウム対策住民協議会ニュース

烏山地域
オウム真理教対策
住民協議会

監視活動は重要!!

烏山地域オウム真理教対策住民協議会

会長 古馬 一行

明けましておめでとございます。昨年(2025年)は地下鉄サリン事件から30年、烏山地域においては、オウム信者が転入してきて25年という事で、新聞・テレビに取り上げられた1年でした。この25年間、町会・自治会や小中学校PTAの皆さまにも監視活動をお願いして、月に一回程度の詰所当番を実施してきました。特に、小さな町会ではいつも同じ方が詰所当番を担っている所もありました。皆さま本当にありがとうございます。なぜそれまでして監視活動が続けるのか。烏山地域のように警察の詰所があつて、公安調査庁の詰所がある所は何処にもありません。かつて25年前にはオウム真理教の本部があり140人前後の信者が烏山にはいたのです。監視の厳しさからか、アレフは分裂して半分は足立区に行きまし

た。60人程いた「ひかりの輪」も今では5名程度です。5名程度ならもういいのではないかと、思つかもありませんが、そうではありません。現在、オウム真理教は団体規制法における觀察処分によって活動を監視・規制されています。私たち住民協議会は、この地域から新しい信者が生まれないようにと監視活動を続けています。成城警察署も公安調査庁も厳しい予算を使って監視活動を続けていただいています。私たちが監視活動を止めてしまえば、それぞれ手を引いていくことでしょう。団体規制法の觀察処分は3年ごとに更新をします。更新には地域の私たちの強い反対の意志として、署名を集めて法務省に要請行動をします。それを公安審査委員会が判断します。署名活動もコロナ禍から様変わりして、街頭署名ではなく、町会長や諸団体の代表に署名をいただいております。烏山のオウム信者が6人といえ、觀察処分が無くなれば「ひかりの輪」も、今までの活動を大きく変えて、勧誘活動を活発にし、烏山

に新しいオウム真理教が誕生することでしょう。

私はいつも北海道を思うのです。

7年ほど前に札幌の白石地区にオウムの施設が出来ました。「アレフ」の国内最大規模の拠点です。そこに

視察に行った時、施設の駐輪場に普通

に通に自転車を入れていく若いお母さんの姿

の人や、小さな子どもの手を引いて

施設に入っていく若いお母さんの姿

を目の当たりにして、オウム真理教

に何の疑念も示さない行政と何もし

ない住民では、このような形になっ

ていくものなのだ実感しました。

ただ、今では住民協議会を立ち上げ

行政と共に活動を続けています。

オウム真理教に関わった人たちは

誰も幸せにはならなかった。信者本

人も、そしてその家族もです。烏山

からそんな人々たちを出さないように

警鐘を鳴らし続ける事が住民協議会

の仕事だと考えています。

オウム真理教との闘いは大変です

が、それでも続けてまいります。や

める訳にはいかないのです。

これからも皆さんと一緒に闘って

いきますので、ご支援、ご協力をお

願い申し上げます。

《今後の活動予定》

3月23日 協議会ニュース216号発行

5月9日 第52回抗議デモ・学習会

法務大臣と公安調査庁長官に要請

令和7年12月9日、オウム真理教対策関係市区町連絡会(会長・近藤やよい足立区長)の16自治体と、世田谷区、足立区、金沢市、甲賀市の各住民対策協議会、オウム真理教対策国会議員連盟の議員や区議会議員は、法務省と公安調査庁を訪れ、觀察処分の期間撤廃など7項目の法整備の要請書を、福山守法務大臣政務官と田野尻猛公安調査庁長官に手渡しました。

参加した住民協議会や自治体からは、麻原の遺骨がアレフに渡った場合の懸念や、住民が気づかない不動産取得で施設の建設が進んでしまふ心配、さらには現在の麻原の妻・子どもたちがアレフに及ぼす影響、来年度に迫る觀察処分の期間更新の必要性などを訴えました。



▶ (右) 法務大臣政務官へ要請書を手交
(左) 公安調査庁長官との意見交換会

第51回 抗議デモ・学習会を開催

令和7年11月8日(土)、烏山地域の町会・自治会や衆議院、都議会、区議会の各議員も参加し、抗議デモと学習会を実施しました。

最初に烏山区民センター前広場にてシュプレヒコールをあげ、オウム真理教の後継団体の一つであるひかりの輪(上祐史浩代表)の施設に向け抗議デモを行いました。

学習会では、地下鉄サリン事件の頃からオウム真理教問題を第一線で取材しているテレビ朝日報道局「スーパーJチャンネル」の清田浩司デスクが講演されました。

清田デスクからは、オウム真理教による大きな犯罪を未然防止できなかった背景や問題点について「捜査」と「報道」の両視点から説明がありました。報道機関にはオウム真理教の実態を社会に明らかにした「功」がある一方、警察情報に依存しすぎた結果の誤報やメディアスクラム等の「罪」があると分析すると共に、弁護士一家殺人事件や松本サリン事件の被害者側のメディア不信に対して、当事者として長い時間をかけて信頼関係を再構築してきた取り組みも紹介されました。

テレビ朝日で放映された上祐氏へのインタビューも上映され、「ああ言えば上祐」と言われた同氏の質疑応答手法は現在も不変な

ことを確認しました。最後にオウム真理教問題は現在進行形の問題であり、報道機関は「裏取り」を生命線にこの問題を報道し続ける責任があるとの力強いコメントをいただきました。

終了予定時刻が過ぎても質疑応答が続くなど、参加者の強い関心と問題意識が表れた充実した学習会となりました。

抗議文

今年は地下鉄サリン事件から30年の節目の年である。多くのメディアがオウム真理教の一連の犯罪を振り返ると共に、今でも後遺症に苦しむ被害者や犠牲者遺族の変わらぬ苦しみを報道し、我々はオウム真理教の犯罪の非道さと、今なお続く問題の深刻さを改めて強く認識した。

しかし、オウム真理教の後継団体である「アレフ」、そしてここ烏山に拠点を置く「ひかりの輪」は、被害者や犠牲者遺族に対する本格的な賠償や謝罪から長年逃げ回るなど、30年を経ても自分たちが犯した行為に真摯に向き合っていない。

それどころか「ひかりの輪」の上祐は全国各地でセミナー・勉強会と称して勧誘活動を行っている。一方でメディア取材やSNSでは「アレフ」や公安調査庁を批判し、あたかも自分がオウム真理教の問題から距離を置く「ご意見番」であるかのような評論家的な発言をしている。

上祐は、無責任に他者を批判する前に、新たな宗教被害者を生む勧誘活動を直ちに止め、自らの賠償責任を果たし、その上で「ひかりの輪」を早期に解散・解体すべきである。

行政や地域住民からの支援や新たな参加者により、当協議会は「ひかりの輪」が解散・解体するまで粘り強く闘うことをここに宣言する。

令和7年11月8日

烏山地域オウム真理教対策住民協議会
会長 古馬 一行



<学習会及び協議会活動への感想>

～以下、学習会アンケートから一部抜粋～

【学習会への感想】

- *現場や当事者を報道する立場から見てきたオウムを知ることができて良かった。清田さんの関心を追体験したようでした。なぜこうなった?に対する答えを今後も追ってほしいと思います。
- *長きに渡り取材してきた記者としての視点からの話は、非常に興味深かった。メディアとしての反省点も含め、事情の経緯を今改めて迎える講演であり、烏山に引き続き不安が存在すること、このことを解決しなければならぬことを認識することができました。
- *メディアが警察報道を鵜呑みにしている事、裏取りもしないで報道しているのは本件のみではないだろう。また、警察の初動捜査の甘さを知るにつけ、怖さを感じるとともに、自分が同じ立場になった時に、何ができるのか考えさせられた。

- *関心を持ち続けることが大切と再認識した。TVを見なくなったので、こういう問題を出すことがないこと、再考しようと思いました。YouTube も見ます。
- *権力側からの発信、そして報道をそのまま鵜呑みにするのは危険だと思った。それはどうしてなのかと自分の頭で考えることが重要なのだと思った。
- *アレフの麻原の次男が、どのように育ってきたのか知りたくなった。麻原の子だとはいえ、同じような人物になるとは限らないが、やはり親や周りの人達で過去を反省し、次男に伝えていく人間が皆無(不在)だったのかと想像した。
- *普段お話を聞けない方からの講演だったので貴重な機会でした。時系列がまとまっていて分かりやすかったですし、メディアの反省をメディアの方から聞いたので印象的な講演になった。

【住民協議会への感想】

- デモに参加するたびに事件の忘却を感じる。風化を防ぐことが常に課題であると思う。
- 今夏は、非常に暑い夏でした。そのような時でもずっと活動を続けておられることに心から敬意を表します。皆さんお身体を大切に、できる範囲で(できることを)続けていただければと思います。
- デモ行進は、ダラダラ歩くだけのデモが多い中、皆さんの気合いが最後まで続いていたのは、あのリーダーのあおり方が上手だからだった。住民活動は、こうあるべきという一例を見た気がする。
- 次の世代へ教団の恐ろしさを伝える重要な活動だと感じた。
- オウムを風化させない活動に長年に渡り取り組んでいただき、本当に頭の下がる思いです。
- 若い人たちの参加を促したい。

協議会ホームページアドレス <https://www.karasuyama-kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。

